

第4回 立川市新校舎建設マスタープラン検討委員会

日時 :平成28年10月19日(水) 18:00~20:00

場所 :けやき台小学校 視聴覚室

出席者 :

【検討委員会委員】 ■長澤委員長 ■富永副委員長 ■菅原委員 ■小林委員 ■佐藤委員

□須崎委員 ■白井委員 ■星野委員 ■大野委員 □藤縄委員

■山田委員 ■堀江委員 ■栗原委員(教育部長) ■吉岡委員

■宮城委員 ■飯塚委員 ■梅津委員

【市職員】 ■小林課長(施設課) ■田村課長(学務課) ■神崎課長(子ども育成課)

□小瀬課長(指導課) ■矢ノ口課長(教育支援課)

【事務局】 ■庄司課長(教育総務課) ■中島(教育総務課)

【策定支援業者】(株)豊建築事務所 ■田中 ■奥澤 ■高柳 ■表 (以下敬称略)

【傍聴者】 9名

-
- ・ 検討委員会公開に当たって、傍聴される方へのお願いを説明。
 - ・ 委員の選出について説明。
 - ・ 配布資料の確認。

1 前回の検討委員会と先進事例視察について

- ・ 事務局にて説明を行った

2 アンケート集計結果について

- ・ 策定支援業者よりアンケート集計結果について説明を行った。
- ・ 事務局よりワークショップのテーマについて説明を行った。
- ・ 策定支援業者より学校教職員ヒアリングについて報告を行った。

<主な意見>

【C委員】 けやき台小学校のヒアリングで、リヤカーで1周できるようにしてほしいとの要望について。具体的な理由を教えてください。

【M委員】 用務員が作業の際、北側から西側に回れないため遠回りしなければいけない不便がある。学校の外周を、せめてリヤカー1台が通れるような、犬走りのような空間をつくってもらいたい

- 【A委員】 補足意見として、体力向上の点からも学校を1周する事は有効である。
- 【委員長】 アンケート結果の全意見が一覧で見られるようになっているので、各委員で検討していただきたい。
- 【C委員】 アンケートで多い意見も大事ですが、アンケートの中で、特別支援教育に関する要望や意見もあったかと思います。母数として少ない集団のご意見をいかに出していくかということも大事だと思う。
- 【K委員】 ワークショップの件で事務局にお願いがある。ワークショップの内容について細かい説明がない為、保護者が参加したいという気持ちにならないのではないかと。参加者が増えるよう、内容が分かるチラシを用意してもらいたい。
- 【事務局】 ワークショップについて、近日中にチラシを配布予定です。どのようなテーマについて話し合うか等、多くの方に参加しやすいように案内します。
- 【委員長】 アンケート、ワークショップについて、出された意見をただ聞き置くためにやるわけではなく、どう生かしていくかが大事な事。具体的な施設計画の目標とか、多数の意見というだけではなくて少数だけれども見落としは出来ない意見もある。アンケートの集計方法は、回答していただいた方に結果をわかりやすく返していくことを念頭に置いて工夫をしてほしい。

3 新校舎の理念について

- ・事務局より新校舎の理念について説明を行った。
 - 1 テーマ：学校統合。2校の子どもが学校統合を契機に両校のよさを受け継ぎ、それを高められる学校づくり
 - 2 テーマ：小中連携。校区で小学校、中学校が1校ずつになる。小中連携で9年間を見通して子どもを育む学校づくり。
 - 3 テーマ：明日も行きたくなる学校。子どもの視点に立って考えるテーマ。子どもたちが明日も行きたくなるような、常に学校に行きたいというような学校づくり。
 - 4 テーマ：自他を認め合う教育。相互に認め合いともに育つことができる学校づくり。
 - 5 テーマ、地域の学びの拠点。地域を支え、地域が支える学校づくり、地域としての学校。

<主な意見>

【委員長】 テーマを5つ取り上げ、学校づくりという言葉で5つの項目がまとめられています。

【P委員】 このテーマは、校舎の理念ですか、学校の理念ですか。この2つは区別して設定していった方がよい。両校のよさを、受け継ぎ、それを高められる学校づくりにするためには新校舎はどのような理念を持ってつくったらいいかという視点で検討を進めた方がよい。

【C委員】 学校がどうあるか、それに対してどういう場が必要かと、その2段構えだと思う。建築が先ではないと思う。教育の場としてどうあるべきか。そこにどういった具体性が必要かということ。学校統合というよりはテーマが両校のよさを受け継ぎ、それを高められる学校づくりだと思うが、両校のよさが何かによって場の設定の仕方も違う。上級生と下級生の関係や、今までの行事とか活動、そのよさが何かということを示していったほうがよいと思う。小中連携についても、校区で小学校、中学校1校になる。具体的に何が出来るようになるのか、具体的な中身とか言葉をどれだけ出せるか。明日も行きたくない学校は、子どもたちだけではなく、先生たちも、明日行きたくない学校。4テーマ目はどこの学校でも当てはまること。一人一人に向き合えることが、日本の各学校の方向性としてある。5テーマ目は、地域を支えるだけではなく、震災が起きた際には、地域の方たちを受け入れられる場でもある。これはもう少し具体的に表現できると良いと思う。子どもたちの、自由意見も見ていると、校庭に対する思いが出ている。校庭という場はとても大事と思う。

【A委員】 理念という言葉の捉え方が違っていると思う。どういう学校をつくりたいかというのをアンケートでやって、その中から出てくるものが理念だと思う。この5つは、理念ではない。アンケート調査や先生方の意見を集約して、いい意見をどのように集約するのかという視点が定まっていないと思う。

【委員長】 「こういう学校をつくりたい」というところを共有できないか。学校づくりは施設だけではなくソフトとハードの両方を含めた場として、施設の目標、課題というのはどういうものがあるだろうか。それを引き出してくる基のよ

うなものだと考える。

【A委員】 各学校の学校目標を参考にしてはどうか。その中で子どもたちのつくりたい学校等、言葉を引き出して作るべきと思う。

【委員長】 この検討委員会では、新しい校舎をつくるということが1つの目標としてある。そのための基本とする考え方というのを整理する場である。子どもや保護者、地域、それぞれの立場の人がその考え方を手がかりにして、施設面、ソフト面、幅広く運用できる考え方を用意したい。

【A委員】 アンケート調査の中で多く出てくる言葉や、皆さんが多く望んでいる言葉をまとめていく必要がある。アンケート調査を次回までにまとめてきていただきたい。

【栗原委員】 書かれている一つ一つのアンケートの答えを、1つキーワードで多いものでまとめた資料もある。学校の理念、それと校舎の理念に結びつけられるようなキーワードを探すということを行ってはどうかと思う

【委員長】 理念については、違うまとめ方や、不足している項目があるかもしれない。アンケート結果と両方を見ていただき、次回にご意見を頂くことで良いか。

【G委員】 こんな子どもたちに育ててほしい。という思いで接していることは、様々なことに好奇心を持って、優しさと、それからたくましさとしなやかさを持った子に育ててほしいという思いで、子どもたちと接している。

【委員長】 そのような思いを言葉にして、皆さんに共有してもらおうということを、この委員会としてまとめていきたいと思う。

【C委員】 親もこんなふうに育ててほしいという、それぞれの思いを学校に託す思いみたいなものもあると思う。この委員会でやるべき事として、学校の教育目標とは違い、シンプルな平易な言葉、子どもにも伝わり理解しやすい言葉を見つけていく必要があると思う。

【A委員】 夢のある言葉が一番いいと思う。短い言葉で。二、三行の文章の方がわかりやすいと思う。

【委員長】 確認の為、学校づくりという言葉で5テーマが、短い言葉で表現されている。異なった表現の仕方が良いということはありませんか。また、フレーズだけでなく文章が解説としてあると思う。キャッチフレーズ的な言葉の下に大事にしたいことが書き下されていくことも考え方としてはあると思う。

【Q委員】 学校の理念という言葉が出てくるが、参加したのは新校舎建築のマスタープランの検討であり、建物と、理念を混同しているような感じがする。アンケートとか学校の理念を実現するためにはどのような校舎をつくれればいいのか、あるいは設備をつくれればいいのか、そのような検討をする場とされている。建築するコンセプトがどのようにリンクしているかということを明確にしていくという作業が必要と思う。

【委員長】 次回の課題として、どういう施設を目指すかという、そのところについても少し作業をして、それを包含する今度の学校づくりで目指したものということでまとめていきたい。各委員には今日の資料や議論を材料に、理念、目標をまとめてもらい、次回に取りまとめの議論をする。

【栗原委員】 新しい校舎で今度どういう手段で、求められる子ども像になるか。検討するのは、学校の理念だけではなく、形にしなければいけない。

【委員長】 教育のあり方、あるいは教育目標そのものについてここで議論するというのは大変なこと。大きな目標としては新しい施設をつくるということが課題としてあって、そこで目指すものについて関係者が共有するための軸を用意しておきたい。全体像をみんなが持ちながら個々の意見が言いやすいようにするということが狙いである。

【栗原委員】 アンケートの中でも同じ意見を書いているわけではなくて、Aに反するBの意見もある。そのときに、初めて理念に照らし合わせた中で、一番理念に適合する案という際の共通認識を図っていきたい。

【委員長】 私たちはこの学校では何をまずみんなで大事にしてこの学校をつくったかということが、共通理解できるようにしたい。そのための軸を用意しようというのが今の議論だというふうに思っている。

4 新校舎の配置と諸室等について

- ・事務局より学童保育所について、市としても新校舎には学童保育所を包括することで進めていきたい旨の説明を行った。
- ・策定支援業者より新校舎の配置について説明を行った。

<主な意見・質疑応答>

【J委員】 駐輪場はどこか。

【策定支援業者】 駐輪場は、台数をどのぐらい確保するのもお聞きして提案させていただく。

【G委員】 防災倉庫はどこか。

【策定支援業者】 平面計画に関してはご意見をお聞きして提案させていただく。

【G委員】 既存の樹木を活用とあるが、桜の木は寿命が来ていると思う。

【栗原委員】 樹木は、学校の思いがあることもあり、伐採は難しい例もある。今は一旦既存樹木の活用ということで置いてあるが、今後検討していきたい。

【D委員】 前のほうに駐車場があると思うが、配膳車が入るスペースの他に一般の方が入るスペースとしては何台ぐらい入れそうですか。

【策定支援業者】 給食搬入車の他、車椅子用の駐車場を加えて全部で3台程度です。

【D委員】 子どもの具合が悪く迎えに来ることがある。しっかり駐車場も欲しい。選挙のときに足の悪い方たちが、遠い駐車場は不便だと思う。

【策定支援業者】 駐車場を何台分確保するか、ご意見をお聞きして提案させていただく。

【委員長】 条件と目標を最初に整理して欲しい。要するに、現状よりは広い校庭を確保するというのは目標になっているか、なっていないのか。

【策定支援業者】 アンケートからも校庭を広くとってほしいという意見は多数出ていた為、校庭を2校の校庭よりも広いことは、条件と考えています。

【Q委員】 マンホールトイレはどのあたりになるか。既存のものは建物の下にはならないということか。今8基あるが、500人ぐらい集まると、1基あたり60人で、1人の持ち時間が3分数十秒になる。計画としてなるべくマンホールトイレを増やしてほしい。水を運ぶ必要がある為、(1基当たり100リットルを毎日)水を運ぶのが楽なプールの近くに数を増やしたい。

【H委員】 体育館の近くに防災倉庫を用意して欲しい。

【栗原委員】 新校舎とマンホールトイレは少し切り離して考える必要がある。簡易の組

み立て式のトイレを合わせると一定の基準は満たす形になっている。

【委員長】 今日の意見は、配置を考えると時に検討すべきこと。市としての判断がある場合は、それをみんなで共有していく必要がある。出された意見は、書き出して、条件あるいは目標の形で共有できるようにしたいと思う。

【P委員】 100メートルの直走路は必要か。小学校では、直線で走るのは50メートルである。校舎からすぐ出たところに菜園や花壇があつて、日常的に世話がしやすい工夫をしてほしい。低学年の遊び場は、どれぐらいの子どもたちが遊べるのかを考えた上での配置というものを考えていく必要がある。

【委員長】 本日の案は、設計事務所案として理解しておき、学校とやり取りをして、さらにワークショップ等で整理していただけたらと思う。100m直走路が不要になった場合、条件としては緩めることで何が可能になるかを押さえて、駐車場、駐輪場、災害時の対応等を、たたき台として用意して、条件、目標を確認していく段階がある。

・策定支援業者より諸室構成について説明を行った。

<主な意見・質疑応答>

【委員長】 たたき台として、大体今回の面積で今の説明があつたようなスペースは確保できるということですか。

【策定支援業者】全体の面積は、法規と予算的な部分で多少ボリュームが変わってきます。

【P委員】 特別支援学級は、現在、3教室（小2・大1）がある。また、プレイルームと教材室、特別支援学級専用の職員室もある。職員室は、担任だけでなく介助員も使用している。職員室には、教材を作成するスペースも必要である。第1理科室、第2理科室が果たして必要なかどうか。第一小学校では図工室はあるが作品を保管する場所が非常に狭くて困っているという話もある。

【H委員】 はるひ野小学校視察の際に、先生が困ったこととして、廊下が広く外で遊ばなくなったとおっしゃっていた。子どもはやっぱりグラウンドで遊ぶべきだと思う。グラウンドをなるべく広くとってもらって、健康な学校にしてもらいたい。

【C委員】 資料について、今回は、それぞれ学校のヒアリングをもとにして出てきたご意見と子どもたちの意見、地域の意見、保護者の意見、それぞれがわかる

議事要旨

ような形でまとめてほしい。また具体的なご意見と、抽象的なご意見が同じように並んでいるので、そこを分けてまとめてほしい。ワークショップで保護者の方にも同じように、子どもたちがこんなふうに育ってほしいとか、先生たちもこういう教育をお願いしたいという話と、新しい校舎はこういうつくりになってほしい。それを大きく2つわかるような形でやっていただくと、対応させやすいと思う。

【M委員】 現状図を見てイメージがつかめないので、重図を作成してもらえないか

【栗原委員】 点線でというような、表示をして次回示す。

5 次回日程について

①第5回新校舎建設マスタープラン検討委員会

日程：平成28年11月18日（金） 午後6時～8時

- ・第2回の検討委員会の議事要旨について、訂正の有無を確認。立川市のホームページに掲載する旨を伝えた。